



市議会だより

きたあきた



26

平成23年2月1日発行

12月定例会

飛び出せ新春
[元旦マラソン]

- 本定例会の審議・結果 2～3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～9
- 委員会調査レポート
臨時会・全員協議会 10～11
- 請願・陳情、人事案件 12

北秋田市上小阿仁村病院組合解散、指定管理など、全議案を可決

議案30件、会計決算22件など審査

12月定例会では、一般会計補正予算や北秋田市上小阿仁村病院組合解散と財産処分、観光施設の指定管理者の指定を無記名投票により賛成可決するなど30議案を原案どおり可決、人事案件2件を同意、請願2件、陳情3件を採択（4件は不採択）、意見書4件を提出、21年度各会計決算22件を認定し11日間の会期を閉じました。



指定管理者の指定
無記名投票の様子

北秋田市上小阿仁村病院組合の解散と財産処分について

公立米内沢総合病院を運営する一部事務組合を平成23年3月31日をもって解散するという市の方針に基づき、市長から提案されました。これに

ついて健康福祉常任委員会では「職員の身分、就労を保障することを明確にする必要がある」などとする附帯意見をつけて可決すべきものとする

ことを報告、無記名投票の結果、賛成14票、反対10票の賛成多数で原案どおり可決されました。

なお、賛成反対の討論が行われ、その内容は次のとおりです。

反対討論（板垣淳議員）

上小阿仁村からも患者、職員が来ており、村にとっても必要な病院だ。米内沢病院を廃止して市民病院に療養病床を移すと、市民病院はますます疲弊する。

賛成討論（佐藤重光議員）

米内沢病院を縮小して存続する。市長がしっかりと診療

定管理者を指定するための議案9件（コンベンションホール四季美館、国民宿舍森吉山荘、打当温泉マタギの湯など）のうち、マタギの里観光開発株式会社を指定管理者に指定する7件については、附帯意見として「過去の経営環境や運営状況などを踏まえた十分な反省のもとに、指定管理料に漫然とすることなく、経営の合理化や効率化などに一層取組ませるべく行政指導の強化を求める」とし、産業建設常任委員会では可決すべきものと報告しました。

その後、賛成反対討論が行われ、無記名投票での採決の結果、賛成17票、反対7票の賛成多数で原案どおり可決されました。

反対討論（武田浩人議員）

債務超過の状態で、新たな借入をしなければ資金ショートの可能性もある。現行より指定管理料が2345万円も増加になったことに疑問を感じる。

賛成討論（山田博康議員）

経営には非常に問題があるが、経営者が交代するなど経営改善に向けて期待できる。

市当局は経営をきちんとチェックし、改善させていくことが必要だ。

反対討論（大森光信議員）

これまでこれといった改善は行われず、赤字だけが膨らんでいる。収支計画書は5年間、収入も支出も同額で、将来へのビジョン、理念がまったく感じられない。

指定管理制度ってなに？



北秋田市が公の施設の管理運営を株式会社や市民グループなどに代行させることができる制度だよ。

指定管理施設の中には、市民病院、市民プール、ケアタウンや各集会所などがあるよ。

議会改革中間報告

本定例会において、議会改革特別委員会の中間報告が行われました。

主な内容は次のとおりです。

○一般質問について

全議員に機会を与えるべきとの観点から、これまでの会派制による割当てを取払い、希望者は誰でも登壇できるようにする。ただし、日数、時間の関係上、制限時間を1人30分以内とし、会派の関連質問は認めないこととし、実施は平成23年3月議会から導入予定。

○常任委員会の任期、会派制について

○議員定数について

慎重に進めるべきとの意見があり、今後調査、検討する。最後に、議会改革の取組みについては、広範にわたる事項について検討が必要であり、相当の協議期間を要するもので、各項目について関係資料等参考にして鋭意調査・研究していくとした中間報告を受

今定例会で審議された議案と結果

事 件	審議結果		事 件	審議結果	
北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決	北秋田市阿仁農林水産物直売・食材供給施設の指定管理者の指定について	無記名投票 (賛)17: (反対)7	原案可決
北秋田市簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決	北秋田市阿仁熊牧場の指定管理者の指定について	無記名投票 (賛)17: (反対)7	原案可決
北秋田市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	認 定
北秋田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
平成22年度北秋田市一般会計補正予算(第5号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
平成22年度北秋田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
平成22年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	認 定
平成22年度北秋田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
平成22年度北秋田市簡易水道特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	認 定
平成22年度北秋田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	認 定
平成22年度北秋田市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	認 定
平成22年度北秋田市北秋田市立阿仁診療所特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	認 定
平成22年度北秋田市坊沢財産区特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	認 定
平成22年度北秋田市米内沢財産区特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市坊沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
平成22年度北秋田市前田財産区特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市綴子財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
平成22年度北秋田市病院事業会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市栄財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
平成22年度北秋田市水道事業会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市沢口財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
北秋田市上小阿仁村病院組合の解散について	無記名投票 (賛)14: (反対)10	原案可決	平成21年度北秋田市七日市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
北秋田市上小阿仁村病院組合の解散に伴う財産処分について	賛成多数	原案可決	平成21年度北秋田市米内沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
市道路線の廃止について(七日市～松沢線外1.129路線)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市前田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
市道路線の認定について(綴子小学校線外1.126路線)	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市阿仁合財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
北秋田市国民宿舍森吉山荘の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市大阿仁財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	認 定
北秋田市クィンス森吉の指定管理者の指定について	無記名投票 (賛)17: (反対)7	原案可決	平成21年度北秋田市病院事業会計決算の認定について	賛成多数	認 定
北秋田市太平湖グリーンハウスの指定管理者の指定について	無記名投票 (賛)17: (反対)7	原案可決	平成21年度北秋田市水道事業会計決算の認定について	賛成多数	認 定
北秋田市コンベンションホール四季美館の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致	同 意
北秋田市打当温泉マタギの湯の指定管理者の指定について	無記名投票 (賛)17: (反対)7	原案可決	各常任委員会及び議会運営委員会の所管事務調査について	全会一致	原案可決
北秋田市ふるさとセンター(マタギ資料館)の指定管理者の指定について	無記名投票 (賛)17: (反対)7	原案可決			
北秋田市農業者健康管理施設の指定管理者の指定について	無記名投票 (賛)17: (反対)7	原案可決	請願・陳情9件、意見書提出4件		P12参照

総務財政

普通交付税104億

5179万8千円

当委員会に付託された案件は、予算案4件、陳情4件でした。

予算案の審査の中で、12月に入ってから国の補正予算に伴う追加により、普通交付税が1億2504万2千円追加され、確定額が104億5179万8千円となりました。この確定額から予算に計上した分を差し引くと、7億75

56万1千円が予算に計上されず留保しているとの説明がありました。

金作之助顕彰碑
米高跡地で保存

また、今回の補正では、市有地の分筆測量代があり、県有地と市有地と交換するための測量代であるとの説明がありました。よって米内沢高校

敷地内にある金作之助顕彰碑と米内沢高校の記念碑がある土地は市の所有地となり保存されることになりました。その他の補正については、人事院勧告や事業の確定、精査によるものとの説明がありました。

予算案については、全会一致で原案のとおり可決としました。

陳情（辺野古への新基地建設、米軍訓練の全国への移転拡充を約束した「日米合意」の撤回を政府に求める意見書）については、反対の立場

から、日米合意は必要であり、抑止力の観点からも反対、賛成の立場から沖縄県民の声を尊重し日米同意の廃棄と軍事基地撤去が憲法にそった精神であるとの討論があり、賛成少数により不採択としました。住民の安心・安全を支える

行政サービスの拡充を求める陳情書、米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情についても、賛成・反対の討論があり、賛成少数により不採択としました。

（委員長 黒澤芳彦）



保存される金作之助顕彰碑

教育民生

森吉中学校へ
スクールバスの購入

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案2件でした。

北秋田市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定については、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴うもので特定屋外タンク貯蔵所の設置許可等に係る審査事務の効率化が図られたことにより手数料額を引

き下げるものであり全会一致で原案のとおり可決としました。

北秋田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定についても全会一致で原案どおり可決としました。平成22年度北秋田市一般会計補正予算所管分については、人勧による人件費の減額が主なものであります。教育費の中で森吉中

学校のスクールバス購入については、故障のため走行不能になり修理費が多額になることから1365万円で購入するための予算であり、財政課と協議をし、過疎債が使える見通しとなったことから、年度内に購入し新年度から使用したいとのことでありました。また、公民館費の中で坊沢公民館に係る備品等の購入286万円は、坊沢財産区からの繰入金を用いるものが補正予算の主なものであり、全会一致で原案のとおり可決としました。

国保会計
保険料あげない

平成22年度北秋田市国民健康保険特別会計補正予算については、今年度繰越になる見込額は1億円ぐらいが留保できると見込んでおり、昨年度の繰越金1億6千万円と予備費の2千万円で最低でも2億5千万円を来年度の財源として使えるので保険料を上げない方向で新年度予算を組んでいるとのことであり、全会一致で原案のとおり可決としました。



故障のため走行不能になったスクールバス

以上が教育民生常任委員会に付託されました事件についての報告であります。

（委員長 松橋 隆）

健康福祉

北秋田市上小阿仁村
病院組合解散

当委員会に付託された案件は、予算案5件、単行議案2件、陳情1件でした。

一般会計補正予算の主なもの、職員の人件費の人勧に伴う補正でした。障がい者の施設内から地域への移行による利用者の増、敬老式の統一の件、インフルエンザ予防接種を受けさせるべき等質疑がありました。

合川診療所、介護保険、阿仁診療所の各特別会計補正予算の主なものは、職員の人件費の人勧に伴う補正でした。

無料送迎バス運行
病院薬局間

市民病院利便性向上事業は「北秋田市市民病院利便性向上事業補助金交付要綱」「保険医療機関及び保険医療養担当

規則」を配布、説明を受けました。この事業は冬期間の暫定的処置で利用者は無料送迎。規則に「特定の保険薬局への誘導の禁止」条項があり抵触しないか、東北厚生局の見解を伺い検討の結果、社会福祉協議会で自主的に事業を行うということでした。事業費（2百万円）の4分の3を上限として補助、4分の1は社会福祉協議会の負担となる。

赤字体質から脱却してやっていくことは可能。多くの住民が病院の存続を望んでいる」賛成討論―一部事務組合の解散については市と村で合意している。無くなるわけではなく診療所として残す。市全体の医療を考えると縮小して再構築すべき」でした。委員会として附帯意見をつけました。解散に伴う財産処分についても、反対討論がありました。



病院組合解散の公立米内沢総合病院

（委員長 中嶋洋子）

産業建設

指定管理に質疑が集中

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案5件、単行議案11件、請願2件、陳情2件でした。

指定管理の国民宿舎森吉山荘（ぶなの雫森吉山合資会社）とコンベンションホール四季美館（株式会社東北ダイケン秋田支店）の2件は、全会一致で原案可決としました。クウインス森吉、太平湖グリ

ーンハウス、打当温泉マタギの湯、ふる里センター、北秋田市農業者健康管理施設、北秋田阿仁農林水産物直売・食材供給施設、阿仁熊牧場（マタギの里観光開発株式会社）の7件については、選定候補者の経営状態が悪い、経営の取組みが甘いなどの質疑がありました。社長の交代や人件費の切り詰め、職員配置の

見直し、赤字に対しても市からの補てんは望まないなど自前で何とかしたいとの気持ちの表れとの説明があり、反対討論もありましたが、賛成多数で原案可決としました。ただし、経営に対し行政指導の強化を求める意見を付しました。

減額補正
事業仕分けの影響

「北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について」「北秋田市簡易水道事業の設置に関する条例の制定

について」の2件については、全会一致で原案可決としました。

一般会計の造林費減額716万円や、下水道事業特別会計の工事請負費減額9654万円については質疑がありましたが、いずれも事業仕分けによる削減と思われるとの答弁があり、一般会計、また、簡易水道、農業集落排水事業、下水道事業の特別会計3件と水道事業会計は、全会一致で原案可決としました。市道路線の廃止、認定は20、21年度で統合整備が完了したことに

よるとの説明があり、全会一致で原案可決としました。請願2件、陳情2件については、全会一致で採択となり、それぞれ意見書を提出することになりました。

（委員長 松尾秀一）



クウインス森吉

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う



一般質問は、12月9日・10日に行われ、7名の議員が市長に対して、日常業務、思いの強い政策、予算規模と交付税、文学資料館、交通アクセス、福祉の雪事業、ごみの有料化等様々な問題についてたどしました。

*掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

思いの強い政策は

質問

5つの基本政策を

回答



議員 藤 光子 (き ら り)

問 市長が将来を見据えて、今考えの思いの強い政策は何か。

答 市長就任後の所信表明で「市民が主役、力強さと優しさあふれる希望のまち北秋田市」の実現に向けて5つの基本政策を上げさせていただきました。

- 1, 行財政改革の推進と財政の健全化
- 2, 地域医療と福祉の充実
- 3, 日常生活の安全安心対策
- 4, 産業の活性化
- 5, 人材の育成

であります。いずれも欠くことのできない重要な政策と考えています。

問 未来の北秋田市を支えていくべき若者のまちづくりに対する考えやアイデア

学校再編計画について

地域住民や保護者との協議を重ねる

問 校舎新築の財源確保について。

答 学校再編に対しては他の政策経費を抑制しても優先的な財源配分に配慮をする。基幹施設の整備に付随して様々な補助対象外、起債対象外の工事費や備品購入費等が発生してくるが、これらの事業費をできるだけ抑える事業計画に出来るかが財源確保からも重要と考えています。

職員みずから積極的に自治会組織や各種団体に参加していくことが重要。今後若手職員のみなならず、全職員に対し督励をしたい。

問 ホームページ改善やツイッター等新しい取り組みについて。

答 利用しやすいホームページを目指し、随時改善していきたい。ツイッターについては、今後に向けての研究課題にさせて頂く。

問 今後の小学校再編計画について。

答 再編整備計画の後期計画に基づいて進めたいが、地域住民や保護者のご理解を得るために、協議を開いて何度も協議を重ねて進めていきたい。

問 合川西・南小学校の先行統合について。

答 複式学級を解消するため、引き続き保護者及び地域の皆様方と再度話し合いを進めていきたい。

日常業務の総見直しは

質問

今後も強い覚悟で取り組む

回答



議員 松田 光朗 (新 創 会)

問 日本経済の不振によるばかりでなく、国の財政も地方財政も危機にあることはだれも否定できないことであり、時のアセスという言葉の中で、今まで続けてきて何の問題もなかったということから情性で続けら

れている事務事業がないか。公共事業だけでなく、ソフト事業も含めてその実績や効果を分析し、精査をしてきましたが、さらにその実績や効果の検証を進め、経費削減につなげるよう、今後も強い覚悟を持って取り組んでまいります。

地方債の繰上償還は

有利に働く運用を目指す

問 地方財政が窮迫していることは、本市のみの現象でありませんが、財源の多くは起債に依存することで推移してまいりました。その結果、平成21年度地方債の残高は251億1612万円、実質公債費率も15%から16%に達しております。

このままの状態では推移するならば、近い将来、本市の財政運営は極めて切迫し、パンクすることも予想されます。

地方債を議決する際の償還方法については、市財政の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、若しく

答 国の地方財政対策の一環として、平成19年度から21年度までの3年間に限定して5%以上の高金利資金に3年間繰上償還の対象となった当市の残債1億9859万6千円、うち低利の借換債発行額は1億6120万円で、差引3740万円の高金利資金を繰上償還して、将来の利払費は2231万円の軽減が図られました。

予算規模と交付税は

質問

交付税105億予算200億

回答



議員 長崎 克彦 (清 和 会)

問 来年度の主要施策は。

答 米病の一組解散にともなう費用、米内沢小学校建設、住民情報系電算システム更新費の増が見込まれる。

問 来年度の予算規模と交付税の見通し。

答 交付税は、合川高校統合に伴う学校費約2億円、米内沢病院の救急告示病院の廃止分約4千万円、人口減少による分約4億円等合計7億円が減少し、交付税は105億円、予算は200億円前後と試算している。

問 経常収支比率等各種指数はどう変化するか。

答 経常収支比率は21年度86%と改善されるが、26年度頃まで90%台で推移する。公債費比率は21年度16・6

%で、年々減少する。市債は22年度245億円ほど、年々減少する。基金の積立は、21年度末で55億円、財調基金は22年度末で19億円ほどと見込んでいる。

問 住民票等の各種証明書の発行できる「自動交付機」を量販店（スーパー）に設置する考えは。

答 行財政改革を推進する上では有効な手段であり、

農業者への支援を

検討していく

問 市当局と鷹巣、北央農協と意見交換を実施、今年の作柄、米価下落等について協議、各農協から要望が出された。この要望にどう対応するのか。また、作況指数等を考慮すると、農家へ運転資金（融資）の独自かさ上げ補給すべきと考え

答 水稲種子助成、山の芋

等特産野菜振興事業の補助金の継続要望があった。基幹産業である農業を営む地域が元気になれるよう、さらに協議検討する。融資利子の独自かさ上げについても、近隣市町村の取組みや対応状況を調査し、融資機関等と十分連携を図りながら検討してまいります。



中嶋 洋子 議員
(政友会)

薬局は病院のすぐそばに

今しばらくお時間を

市民歌の早期制作を。

答 市民歌制定の手法についてなお検討が必要です。

問 街路樹の美しい街は、住む人の心を癒し公共心を育む。年数の経過により、

文学資料館を

検討していきたい

問 散逸しがちな文学資料を収集・展示・保存すること。北秋田市ゆかりの文学資料を広く市民へ紹介すること。市民の文学活動を支援すること。市の文学の振興を図ること。市内の専門家を委嘱し、文学資料調査収集委員会を発足させ、文学資料調査事業をスタートさせて文学資料館をつくるべき。

答 必要性を痛感している。方途を相談し検討します。

問 視覚障害者用の歩行者信号は休眠中です。平成13年「歩いて暮せる街づくり

大きくなり過ぎ、根による歩道の盛り上がり、道路沿いに住む人々の負担への配慮、害虫の早期駆除、定期的パトロール、剪定の計画書等はどうなっているのか。

答 現状では伐採、剪定、薬剤散布及び歩道路面の部分補修で対応。街並の景観の向上に努めていく。管理は専門の業者に委託しています。

問 男女がともに輝き生き生きと暮らすことができる社会を目指して質問。市男女参画計画の前期5年間の評価がない。意識づけ啓蒙を。

答 現状の把握と検証を行い、現計画の見直しを検討。



久留嶋 範子 議員
(共産党議員団)

市民の声を市政に反映して

安心・安全な暮らし約束する

つになって組織的に取組み「すこやかに生まれ」「すこやかに育ち」「すこやかに老いる」地域医療の計画は。

問 住民アンケートでも、43・9%が市政に市民の意見が十分に反映されていないと答えています。行政懇話会を工夫して開き、地域に住む市民が安心して暮らせるように。

旧沢内村の生命尊重行政から学び、行政と住民が一

交通アクセスの充実を

直通での路線は難しい

問 交通アクセス充実のための具体策は。

どんな立派な病院でも、患者が来なければ経営は成り立たない。米内沢病院、合川、阿仁の診療所には通院バスがあるのに、なぜ走らせられないのか。

答 すべての集落から市民病院まで直通で結ぶ路線をつくるのは、路線数や経費的にも難しい現状。地域によつては、乗り継ぎなど不便をかけているが、理解と協力を。

問 非核・平和と都市宣言のまちとしての取組みは。「いのちの大切さ」「戦争と平和」について学校教育でどのような、取組みがなされているのか。

答 宣言幕を本庁舎屋上にどこに設置。職員が参加する平和運動を支援しています。終戦記念日には、庁舎内で黙とうを行っています。



市民病院前バス停に停車中の路線バス

質 問	回 答
福祉の雪事業償還払い見直しを	モデル地区を指定し試みる



小塚 光子 議員
(清和会)

問 政治姿勢として住民の命を守る地域医療体制を即急に示すべき。また福祉の雪事業や市民病院までの車代は高齢者の負担額が多額で更なる不安が増、これも政策としての結果では。

答 当初の構想と現状の開きは修復困難、将来見据え

子宮頸がんワクチン接種の実現を

来春 中学1〜3年生実施

問 「少子化対策は地域の存続」として5項目を質問。地域療育医療拠点施設の医療体制の整備。空施設活用し、わんぱく機能活かす高齢者と子ども達の拠点を。子宮頸がんワクチン接種とがん検診啓発。危険な側溝

や歩道のない道の整備と除排雪で登下校の子ども達に安心を。自主防災組織づくりに子どもも含め近隣で助け合う大切さを学ぶ取組みを。

答 地域療育医療拠点施設は重複障害乳幼児の悲願、これは県政策の一環、当市

質 問	回 答
ごみ有料化について	有料化検討委員会設置



武田 浩人 議員
(公明党)

問 行財政改革大綱の実施計画の中で、職員の外勤務の縮減、各種審議会・委員会の報酬等の見直し、補助金の整理・合理化

についての考えを伺います。

答 職員の時間外勤務縮減は財政面だけではなく、健康管理の上からも必要であるが、今後の職員数の減少

や、国・県からの権限委譲により、業務量の増加が予測され、縮減は困難である。今後行政サービスの低下を招かぬよう人員配置の適正化や業務効率化により創意工夫して取組んでいきます。各種審議会及び委員会の報酬の見直しについては、条例に支払いが明記されているが、費用対効果や目的

ごみ処理施設について

23年度中に計画案策定

問 ごみ処理施設について今後の計画を伺います。

答 ごみ処理施設の今後の計画はクリーン・リサイクルセンター内の焼却施設が稼働後20年を経過し、年々修繕料も増加傾向にありま

秋田市一般廃棄物処理計画」に基づき、市民・事業者・行政の三者が連携しごみの減量に努めています。有料化は平成23年度に「北秋田市ごみ有料化制度検討委員会」（仮称）の設置を予定し、ごみ20%減量を推進することにより、持ち込みごみによる施設使用料収入等が約3百万円減と見込まれますが、運搬業務及び焼却施設維持管理費で約2千万円、焼却施設維持運転管理費で約3千7百万円の経費削減となり、財政効果額は、年間5千4百万円と試算しております。

総務財政常任委員会

11/24
～
11/26

地域を元気にする助成事業の研修

当委員会は、当日13時15分大館能代空港発、伊丹空港着の飛行機を利用し、研修地先である淡路島洲本市に向け、空港利用促進のため、大阪便を利用し出発しました。

視察日には、木下市議会議員長、高坂議会事務局長の歓待を受けて、早速洲本市の取組んでいる「元気のもと基金助成事業」についての説明を受けました。

この事業は5年間を限定とし制度化したもので、地域を元気にしたい！

そうした市民の活動を応援する事業で、例えば、集会所をバリアフリー化し、地域のお年寄りを集まりやすくする、まちおこしのイベントを開催するなど、地域を元気にするソフト事業、ハード事業を対象とする助成事業です。

洲本市では、平成16年の台風で5名の尊い人命

が失われ、3200戸余りの住宅が大きな被害を受けました。これを契機に建設された約38haの内部排水を行える物部ポンプ場を視察し川の浸水被害から住宅地を守る施設を研修しました。

洲本市を後にし、淡路市の北淡震災記念公園では、震度7の地震を体験し、また、神戸市では人と防災未来センターを訪ね、震災のすさまじさ、復興への道、初期の防災の大切さを研修しました。

(委員長 黒澤芳彦)



物部ポンプ場の監視室で説明を受ける

健康福祉常任委員会

11/16
～
11/18

誰もが住みやすい地域づくりのために

障がい者は施設から地域に移行しております。

今後の北秋田市の福祉行政の指針となる先進地滋賀県を調査致しました。

まず重症心身障害者ケアホーム見学、ビデオ説明、一般住宅を改良し、障がい程度に合わせたきめ細かなサービスが可能な生活しやすい居住空間となっていました。

大津市立やまびこ総合支援センターは4階建て施設の管理は市、建物を活用した各事業は社会福祉法人びわこ学園で実施していました。

「障害を持つ人たちの地域生活を応援します」というメッセージを添えて、それぞれの事業がすべて先鋭的な取組みを実施しておりしました。

国会議事堂を彷彿させるような滋賀県庁の中に、障害者自立支援課があり、廊下の壁いっぱいには糸賀一雄氏の大きなパネルが

「この子らを世の光に」と題し、近江学園の創設者として福祉の理念を併せて展示していました。

「障害児の早期発見・早期対応」のための乳児健診システムの確立、福祉圏構想に基づくサービス提供体制の充実など数多くの先駆的な取組みが図られてきた。現場主義でやってみて不都合があれば共同で取組み、問題をクリアする組織ができていました。

(委員長 中嶋洋子)



重症心身障害者ケアホームの施設及び運営の説明を受ける

教育民生常任委員会

11/16
～
11/18

市職員による出前講座等を学ぶ

千葉県袖ヶ浦市の全国的にも珍しい市職員による出前講座と「子ども読書の街」の事業を調査しました。

出前講座は生涯学習課が担当、市民の皆さんが知りたいこと、聞きたいことを市職員が講師として地域に出かけて話をする制度でありました。講座のメニューは医療、福祉、教育、ゴミの減量化・資源化まで多岐に渡るもので受講対象は市内在住の10人以上の者で構成された団体の申込みを受けて行政情報を市民に伝える。そして、学習機会の拡大を図るものでした。

また、「子ども読書の街」については、読書環境の充実を市の重点施策とし、図書館の充実や学校での読書環境の整備を推進してきたのが認められ、文科省から「子ども読書の街」に指定されこれを契機に市民全体を

巻き込んだ読書振興への取組みがなされておりました。具体的にはボランティアによるおはなし会出張おはなし会、図書館まつり、古本のリサイクル市の開催等が盛んでした。

鎌倉市における「武家の古都鎌倉」世界遺産登録に向けた取組みについて調査して参りました。暫定リストにのってから18年たっている。平泉のイコモス勧告を受けてから審査が厳格になっているが、23年に申請、24年の登録を目指しているとのことでした。

(委員長 松橋 隆)



袖ヶ浦市「市職員出前講座」など事業の説明を受ける

委員会調査レポート

議会運営委員会

10/13
～
10/15

議会改革を調査、可能なことから実行

今回は紀伊半島の中部に位置する奈良県の五條市に伺いました。

人口は約3万6千人で面積は当市の3分の1余りですが、県内では2番目の広さであります。

柿の生産量が日本一で、歴史的には、明治維新の魁となった「天誅の乱」が起こった土地であります。

平成17年9月に1市2村が合併した新五條市は「議会改革特別委員会」を立ち上げ、議員定数や報酬の見直しなどの議論を重ねてきました。

当市議会でも9月定例会で「議会改革特別委員会」を設置したことから、その経緯や議論の内容などについて調査をさせていただきました。

この中で、『議員定数は「行財政運営の批判と監視」という議会の役割や住民意思の反映ということと深い関わりがある』



議会改革の説明を受ける

阿仁スキー場の譲渡受入れについて

11月11日
全員協議会

津谷市長は「阿仁スキー場の施設所有者であるウインターガーデナリゾーツ社から撤退したいので市で無償譲渡の受入れができないかとの打診があった。仮に撤退となると市の観光振興が後退することや地域経済の衰退が懸念されることから市として、無償譲渡受入れを視野に入れて県からの支援を含めて協議していきたい」と述べました。

担当課から説明後の質疑では、議員から「もつと魅力あるスキー場にして誘客に努めるべき、NPOだけに任せるのではなく、市のバックアップが必要でないか」との意見に「距離コースの利用やPRによって魅力アップが図られると思う。存続にあたっては県の支援もお願いしていきたい」と答えました。また「市が受入れた場合、最終的な原状回復費について所有会社にも負担してもらうことは考えているか」との質問には「応援策を考

北秋田市・上小阿仁村病院組合の解散について

11月11日
全員協議会

えてほしいと話してある」と答え、存続に向けた交渉を進める意向を示しました。

津谷市長から、病院組合について「北秋田市と上小阿仁村で平成23年3月31日で解散するとの覚書きが結ばれている。解散後は市立診療所として運営することを目指し、整備を進める計画ですが11月9日に民間医療機関から運営について再検討させてもらいたいとの申し出があり、11月下旬までに結論をいたいただくことになった」などと説明があり、担当課からは、4月以降の医療体制について市立診療所とし、常勤医2名を含め21名のスタッフで運営する。解散に伴う市の財政負担見込みは、平成22年度は約9億4千万円、平成23年度は



全員協議会のようす

TPP交渉に関する意見書を提出

11月30日
第4回臨時会

第4回臨時会が11月30日に開かれ、産業建設常任委員会から出された、環太平洋戦略的経済連携

約11億円、平成24～26年度は3億5千万円などとの説明。その後議員からの質問に対し「療養病床は市民病院が受入れる。医療スタッフの不足は委託分野を増やすなどして対応する」また民間病院となった場合「約70名の職員体制となる。土地建物については、無償貸与を考えている」などと答えました。

給与関連議案については、人事院及び秋田県人事委員会が行った勧告の趣旨を尊重したもので市長、副市長及び市職員の給与改定などを提案、同時に議員発議で市議会議員の期末手当の改定が提案され、いずれも全会一致で可決しました。

また、開会前に津谷市長から、米内沢病院の経営を民間へ引継ぐことについて、条件整備が整わないため移行を断念し、診療所体制にスムーズに移行できるように体制整備を進めたいと報告がありました。

人事案件

本定例会に人事同意案件が提案され、次のとおり同意することに決定しました。

◎人権擁護委員候補者

宮野 恵子 氏（新任）

綴子字街道下

長岐 直介 氏（新任）

七日市字山ノ上

次の定例会は

3月です。

皆さまの
傍聴をお待ち
しています。



決算特別委員会 審査報告

平成21年度各会計決算認定議案22件が本委員会に付託されました。

審査にあたり、代表監査委員から実務監査の実態等について意見を求めました。市長、副市長、教育長に対しては総括質疑を行い認定、不認定の判断に資しました。

審査では、税の滞納者への対応について、公平性の確保が原則であり消費生活相談員や弁護士等の活用を進めながら、秋田県地方税滞納整理機構との連携も図り収納率向上に努力をしています。

補助金総額約8億円に対する検証については、予算計上の際にチェックをしています。がスリムな行財政運営を目指してPDCAサイクルの活用を進めていきます。

新型インフルエンザへの対応については、医師会の指導と協力をいただき集団接種を実施することが効果が高いと判断し混乱もなく終わることができました。

公共事業も必要であります。が費用対効果の面や学校給食

費等の値上げについては、もう少し市民の生活にとって温かい姿勢であってほしい等の質疑がありました。

慎重に審査した結果、付託されました議案は全て認定すべきものと決しました。

（委員長 佐藤文信）

PDCAサイクルとは、事業活動で管理業務を円滑に進める手法のひとつで、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Act)の処理を順に実施し、最後のActを次のPlanに結び付ける手順のことです。



決算特別委員会審査のようす

あとがき

私たち新人議員にとって3回目の定例会となる12月議会が過日閉会しました。今回の議会は、特に重要な議案が多く採決も投票で行われる場面もありました。議員個々の大局的か局的かの判断の重要性、そしてその難しさを痛感させられた議会でありました。

さて、迎える平成23年度は、国から地方へ「地域主権改革」がますます拡大することも懸念されており行政サービスの低下を招かぬように、より一層の努力が求められていくのではないかと思います。

終わりに、平成22年度の締めくくりたる次の定例会3月議会が多くの市民の皆様で傍聴席が埋まることを期待します。

また、「市議会だより」に対する様々なご意見と、ご要望をどんどんお寄せ下さい。

（武田浩人）



みなさんからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
T P P の参加に反対する請願	農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤長右衛門	採 択	提 出
T P P の参加に反対する請願	秋田県農民連 鷹巣支部 代表者 花田隆一	採 択	
陳情(辺野古への新基地建設、米軍訓練の全国への移転拡充を約束した「日米合意」の撤回を政府に求める意見書について)	秋田県平和委員会 理事長 風間幸蔵	不採 択	
大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也	採 択	提 出
雇用と生活をまもる施策強化を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	採 択	提 出
E P A 交渉及び緊急需給調整対策等に関する陳情書	鷹巣町農業協同組合 代表理事組合長・農政対策本部長 佐藤清孝 あきた北央農業協同組合 代表理事組合長・農政対策本部長 疋田俊一郎	採 択	提 出
住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 秋田県国家公務員連労働組合 共闘会議 議長 新山輝和	不採 択	
米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情	安保破棄諸要求貫徹秋田県実行委員会 事務局長 中田 博	不採 択	
米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情	秋田県平和委員会 理事長 風間幸蔵	不採 択	